

令和8年 4月 1日

松江市議会議長 野々内 誠 様

松江市議会議員 小澤 一竜

令和7年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

松江市議会議員 小澤 一竜

1 収 入

政務活動費 275,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	233,020	第20回全国市議会議長会研究 フォーラムin札幌 ほか
調 査 旅 費		
資 料 購 入 費		
資 料 作 成 費		
合 計	233,020	

3 残 額 41,980 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(様式1-1)

令和7年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	1		
使途項目	研究研修費		
使途内容	第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌		
調査年月日 (購入年月日)	令和7年8月26日(火) ~ 令和7年8月28日(木)		
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	・旅費	89,110 円	89,110 円
	・参加費	9,000 円	9,000 円
	・振込手数料	880 円	880 円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
合計額		98,990 円	98,990 円
備考			

議員名 【 小澤 一竜 】

旅費請求書

議員名

小澤 一竜

用務先	北海道札幌市										
用務内容	第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌										
出張期間 (出発及び帰市)		令和7年8月26日～令和7年8月28日								(2泊3日)	
年月日	曜日	出発地・到着地・用務地	用務先 用務時間	交通費(鉄道・航空・船・その他)				宿泊費 包括宿泊費	宿泊手当		その他
				距離	区分	運賃等	特別料金等		定額 夕食 朝食 計	2,400 含まない 含む 800	
R7.8.26	火	松江市 札幌市			航空 25,800 鉄道 1,230 鉄道 210		13,200	定額 夕食 朝食 計	2,400 含まない 含む 1,600		
R7.8.27	水	札幌市 札幌市 札幌市	札幌文化芸術劇場 9:15～16:50		鉄道 210 鉄道 210		13,200	定額 夕食 朝食 計	2,400 別途支給 含む 800		
R7.8.28	木	札幌市 札幌市 松江市	札幌文化芸術劇場 9:00～11:00		鉄道 210 鉄道 210 鉄道 1,230 航空 31,000						
小 計							60,310		26,400	2,400	
合計		89,110 円									

- 注
1. 距離(km)は、市外自家用車利用の場合のみ記入
(自家用車はgoogle地図上で計測した移動距離)
 2. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金
 3. 路程の補足・金額換拠は、Yahoo!路程検索等の写添付(該当箇所マーカー)
 4. 変更を朱書した場合は、理由を備考に記入
 5. 使途に従い不用の文字は抹消して使用すること。

備考

出雲空港までは自家用車使用。用務開始時間に間に合わないため前泊する。
 宿泊先は主催者指定、2泊朝食付き、夕食なし。
 ただし、27日の夕食代はフォーラム参加費に含まれるため宿泊手当から減額する。

路程欄

別紙のとおり

全国市議会議長会研究フォーラム札幌行程表 (8月26日～28日)

令和7年8月26日(火)

12:05	12:55	15:30	17:20	17:42	18:20
出雲空港 11:15集合 JAL2346	伊丹空港 JAL2009	新千歳空港	札幌駅 JR快速	札幌駅 地下鉄東豊線	ホテルロンドン インサッポロ
↑	↑	↑	↑	↑	↑
				徒歩	徒歩

令和7年8月27日(水)

8:30	9:15～10:00	9:15～10:00	9:15～10:00	13:00～16:50	18:00～18:45
ホテルロンドン インサッポロ	札幌文化芸術劇場 hitaru 9:00集合	大通駅	札幌パークホテル (意見交換会)	札幌文化芸術劇場 hitaru (研究フォーラム)	札幌パークホテル (意見交換会)
↑	↑	↑	↑	↑	↑
徒歩	徒歩	徒歩	徒歩	徒歩	徒歩
		地下鉄 東豊線		地下鉄 (鉄道)	地下鉄 南北線
					徒歩
					ホテルロンドン インサッポロ

※次期開催地挨拶

令和7年8月28日(木)

8:15	9:00～11:00	14:30	15:06	16:00	17:40	18:15	19:45
ホテルロンドン インサッポロ	札幌文化芸術劇場 hitaru (研究フォーラム)	大通駅	大通駅	札幌駅 JR快速	新千歳空港 JAL516	羽田空港 JAL287	出雲空港
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
徒歩	徒歩	徒歩	徒歩	徒歩			
	地下鉄 東豊線	地下鉄 東豊線					

出雲空港→伊丹空港(大阪)→ホテル ロンシャンサッポロ 2025年08月26日(火)平均

5時間19分 (乗車3時間29分)

乗換: 3回 1571.2km

現金優先: 95,770円

発 出雲空港		
65分	← 空路(大阪-出雲)	29,930円
伊丹空港(大阪)		
105分	← 空路(大阪-千歳)	64,400円
新千歳空港(札幌)		
7分	歩 徒歩	
新千歳空港(鉄道)		
35分	Ⓜ R快速エアポート	1,230円
札幌		
5分	歩 徒歩	
さっぽろ		
4分	Ⓜ 札幌市営東豊線	210円
豊水すすきの		
3分	歩 徒歩3分 出口: 出口5	
着 ホテル ロンシャンサッポロ		

ホテル ロンシャンサツポロ→札幌文化芸術劇場hitaru

2025年08月27日(水)08:55到着

08:39発→08:54着 15分(乗車2分)



乗換:0回

1.1km

Ⓢ 現金優先: 210円 定期券 通勤: 1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円

08:39 発 ホテル ロンシャンサツポロ

歩 徒歩3分 出口: 出口5

08:42着
08:46発

○ 豊水すすきの

乗車位置: [4両]前

札幌市営東豊線 栄町行 [発] 2番線 → [着] 2番線

210円

08:48着
08:52発

○ 大通

歩 徒歩2分 出口: 出口31

08:54 着 札幌文化芸術劇場hitaru

札幌パークホテル→ホテル ロンシャンサッポロ 2025年08月27日(水)19:00出発

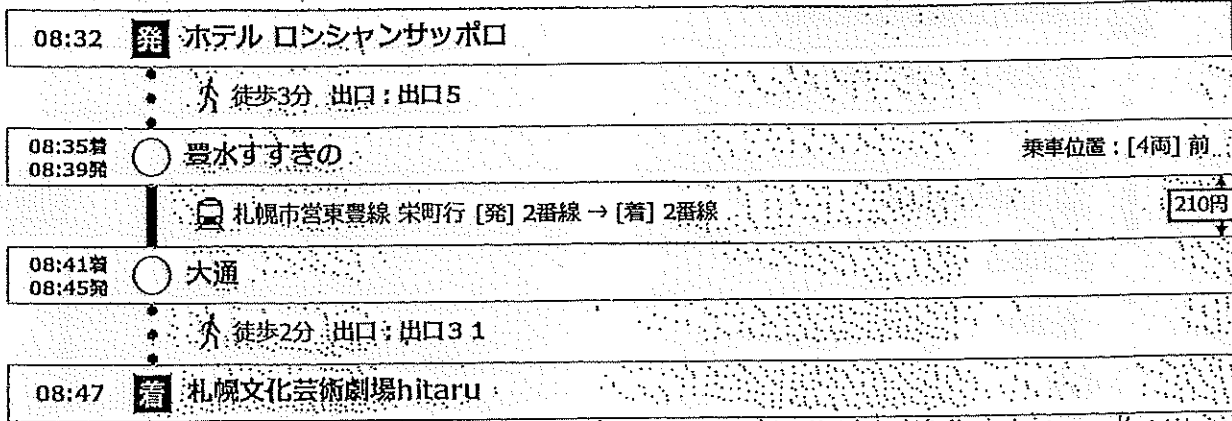
19:00発→19:15着 15分(乗車1分) 乗換:0回 1.4km
④ 現金優先:210円 定期券 通勤:1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円

19:00	発	札幌パークホテル	
		徒歩1分 出口:出口1	
19:01着 19:04発	○	中島公園	乗車位置:[6両]中後
		札幌市営南北線 麻生行 [発] 2番線 → [着] 2番線	210円
19:05着 19:08発	○	すすきの	
		徒歩7分 出口:出口5	
19:15	着	ホテル ロンシャンサッポロ	

ホテル ロンシャンサッポロ→札幌文化芸術劇場hitaru

2025年08月28日(木)08:50到着

08:32発→08:47着 15分(乗車2分) 乗換:0回 1.1km
現金優先:210円 定期券 通勤:1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円



札幌文化芸術劇場hitaru→札幌→羽田空港(東京)→出雲空港

2025年08月28日(木)平均

5時間5分 (乗車3時間27分)



乗換: 3回 1742.3km

現金優先: 86,260円

発 札幌文化芸術劇場hitaru	
2分	徒歩2分 出口: 出口3 1
○ 大通	
2分	札幌市営南北線 210円
○ さっぽろ	
5分	徒歩
○ 札幌	
35分	JR快速エアポート 1,230円
○ 新千歳空港(鉄道)	
7分	徒歩
🚗 新千歳空港(札幌)	
90分	空路(東京-千歳) 39,820円
🚗 羽田空港(東京)	
80分	空路(東京-出雲) 45,000円
着 出雲空港	

領収証

通 番	██████████
領収証番号	13367400100-05-52
発行日	2025年 8月 6日

小澤 一竜 様

下記の金額正に領収いたしました

¥56,800 -

但し 8月26日 航空券代金として

8/26 JL2346 (出雲 /伊丹) 8/26 JL2009 (伊丹/新千歳)

8/28 JL516 (新千歳/羽田) 8/28 JL287 (羽田/出雲)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2025/08/06	現 金	¥56,800
合 計 金 額		¥56,800

山陰支店
〒690-0003 島根県松江市朝日町
477-17
松江SUNビル7階
TEL: 0852-23-6720

出納責任者	██████████
取扱者	██████████



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川2-3-11

領収箇所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

令和7年8月22日

小澤 一竜 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 丸子 善弘



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌の参加費として

令和7年8月27日・28日開催 (札幌市)

領収書貼付用紙

使 途	振込手数料
【貼付欄】	ご利用明細
	ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。
	年 月 日 07-08-22
	毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日
取扱店番 振番 受付番号 取引 お取引内容	02160410980 お振込
銀行番号 支店番号 口座番号	[REDACTED]
お取扱紙幣 万円 5千円 千円 お取扱硬貨 お取引金額	¥9000
銀行使用欄 時刻 お取引後の元帳残高	0010440926
IC 手数料 ¥440	みずほ銀行 十四号支店 普通 [REDACTED] カ) JTB 様へ
659-7 オサワ イチリウ 様から	通番000003
ご利用明細	ご利用明細
ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。	ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。
年 月 日 07-08-22	年 月 日 07-08-22
毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日	毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日
取扱店番 振番 受付番号 取引 お取引内容	02160410977 お振込
銀行番号 支店番号 口座番号	[REDACTED]
お取扱紙幣 万円 5千円 千円 お取扱硬貨 お取引金額	¥26400
銀行使用欄 時刻 お取引後の元帳残高	0010410924
IC 手数料 ¥440	みずほ銀行 十四号支店 普通 [REDACTED] カ) JTB 様へ
659-7 オサワ イチリウ 様から	通番000002
ご利用明細	ご利用明細
ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。	ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。
年 月 日 07-08-22	年 月 日 07-08-22
毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日	毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日
取扱店番 振番 受付番号 取引 お取引内容	02160410980 お振込
銀行番号 支店番号 口座番号	[REDACTED]
お取扱紙幣 万円 5千円 千円 お取扱硬貨 お取引金額	¥9000
銀行使用欄 時刻 お取引後の元帳残高	0010440926
IC 手数料 ¥440	みずほ銀行 十四号支店 普通 [REDACTED] カ) JTB 様へ
659-7 オサワ イチリウ 様から	通番000003
ご利用明細	ご利用明細
ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。	ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。
年 月 日 07-08-22	年 月 日 07-08-22
毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日	毎度ご利用いただきありがとうございます。 ご利用日
取扱店番 振番 受付番号 取引 お取引内容	02160410977 お振込
銀行番号 支店番号 口座番号	[REDACTED]
お取扱紙幣 万円 5千円 千円 お取扱硬貨 お取引金額	¥26400
銀行使用欄 時刻 お取引後の元帳残高	0010410924
IC 手数料 ¥440	みずほ銀行 十四号支店 普通 [REDACTED] カ) JTB 様へ
659-7 オサワ イチリウ 様から	通番000002

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(7にレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

山陰合同銀行

CD6-14C 30.022(K)

山陰合同銀行

CD6-14C 30.022(K)

議員名

【 小澤 一竜 】

研究研修、調査 報告書

議員名

小澤一竜

1. 期 間 令和 7 年 8 月 26 日 (水) ～ 令和 7 年 8 月 28 日 (木)
2. 会 場 等 ①札幌文化芸術劇場hitaru【中継会場】札幌パークホテル 3F「エメラルド」
3. 調査項目等 ①地元開催を1年後に控える、全国市議会議長会研究フォーラムについて
②基調講演「主権を預かる誇りと責任」について
③パネルディスカッション「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」
④課題討議「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」
4. 講師 (対応者) ②伊吹 文明 元衆議院議長
③コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授
パネリスト 牧原 出 東京大学教授、白石 洋一読売新聞東京本社政治部次長、
山下 節子 山口県宇部市議会議長 長内 直也 北海道札幌市議会議長
④コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授
事例報告者 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長
平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員
中野 進 石川県白山市議会議長
5. 調査内容・所感等
- ①「地元開催を1年後に控える、全国市議会議長会研究フォーラム」について
- 全国市議会議長会研究フォーラムは、地方議会が直面する様々な課題について基調講演やパネルディスカッション、課題討議を通じて議論し、情報共有や解決策の模索を行うことを目的とし、年に一度、全国の市議会議員が一堂に会されフォーラム形式で2日間開催され、その後、開催自治体（及び周辺）の特色ある、地域活性化に資する取組みの現地視察も含めて議員研修の機会となっております。
- 本年は、8月27日～28日にかけて、第20回全国市議会議長会研究フォーラムが札幌文化芸術劇場hitaru

【中継会場】札幌パークホテル 3F「エメラルド」にて開催されました。1年後に地元開催を控える、松江市議会としてフォーラムの内容・設え、流れ、懇親会の設え、演出などを事前に、視察する意味も含めて、昨年に引き続き、参加しました。来年開催に向けて、全国の市議会議員の方々へ松江の地をPRする事を見据えており、リハーサルの時間も鑑み、前日現地入りする事となりました。

②基調講演では「主権を預かる誇りと責任」のテーマで講演されました。地方議員を単なる地域代表ではなく、「主権の担い手」として位置づけ直す重要な視点を提示され、特に、住民要望と財政制約の間で判断する責任の重さや、首長との緊張関係の中での役割は、現場の政治の本質を示しており、今後は制度的整備とともに、議員自身の倫理と覚悟がより一層問われると感じました。

③パネルディスカッションでは、地方議会におけるなり手不足問題について、人口減少や投票率低下といった背景を踏まえつつ、多様な人材の参画を促進するための課題と方策が議論されました。

特に、制度的課題、経済的負担、議会の魅力発信、主権者教育の重要性が中心論点となりました。

地方議会のなり手不足は、単なる人材不足ではなく制度・生活・意識の複合的課題であると感じ、特に経済的負担の大きさは現実的な障壁であり、議会の魅力発信と制度改革を同時に進める重要性を強く認識しました。

④2日目の課題討議では、地方議会におけるなり手不足の現状について、多角的な意見が交わされました。一定の成果として、立候補者数の増加や市民参加の広がりが挙げられました。特に、市民との意見交換や広報活動を通じて、議会への関心が高まりつつある点がいくつか挙げられました。

一方で、議員報酬の見直しや活動環境の整備が十分に進んでいないことが課題として指摘された。

また、活動の持続性、特に中心的役割を担う人物（キーパーソン）に依存しがちな構造にも懸念が示されました。

今後は「対症療法」ではなく、「将来を見据えた政策的対応」が求められ、議会が市民に開かれた存在となり、多様な人材が参画できる持続可能な仕組みを構築することがなによりも不可欠であると感じました。

旅費請求書

議員名

小澤 一竜

用務先	東京都千代田区永田町										
用務内容	中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会 境港出雲道路整備促進 松江市議員連盟研修会										
出張期間 (出発及び帰市)		令和7年10月21日 ~ 令和7年10月22日								(1泊2日)	
年月日	曜日	出発地・到着地・用務地	用務先 用務時間	交通費(鉄道・航空・船・その他)				宿泊費 包括宿泊費	宿泊手当		その他
				距離	区分	運賃等	特別料金等		定額 夕食 朝食 計	2,400 含まない 含む 1,600	
R7.10.21	火	松江市		km	航空 鉄道	21,790 660		12,900		取扱手数料 2,200	
R7.10.22	水	東京都 東京都 松江市	参議院議員会館 9:30~15:30		鉄道 鉄道 航空	180 660 14,530					
小 計						37,820		12,900	1,600	2,200	
合 計				54,520 円							

- 注
1. 距離(km)は、市外自家用車利用の場合のみ記入
(自家用車はgoogle地図上で計測した移動距離)
 2. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金
 3. 路程の補足・金額根拠は、Yahoo!路程検索等の写添付(該当箇所マーカー)
 4. 変更を朱書した場合は、理由を備考に記入
 5. 使途に従い不用の文字は抹消して使用すること。

備考

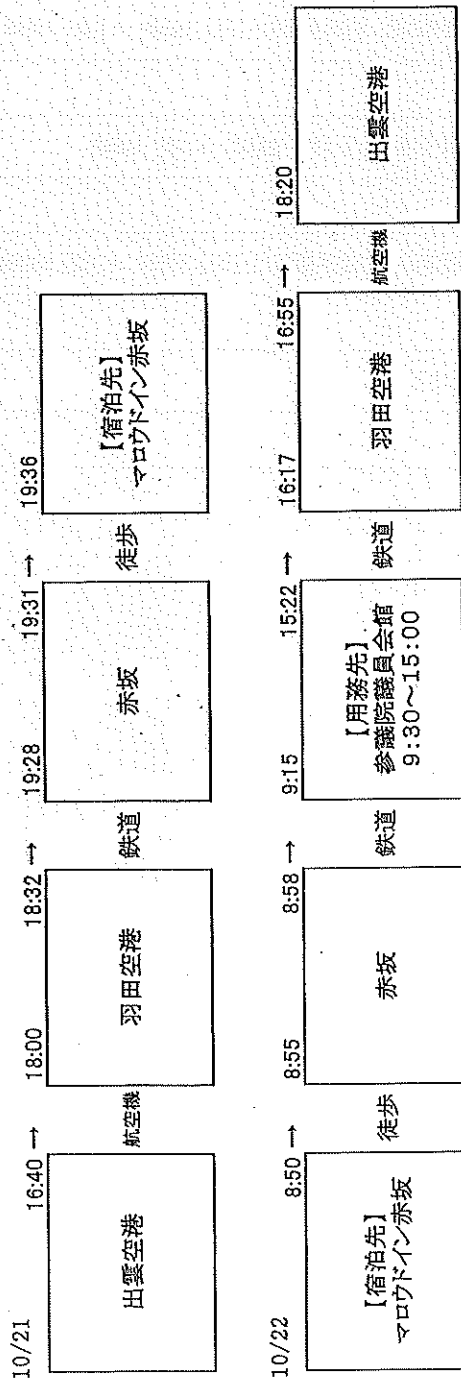
出雲空港までは自家用車を使用。
10月22日の用務開始時間に間に合わないため前泊する。(1泊朝食付き)

路程欄

別紙のとおり

10月21日 前泊

10月22日 中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会
境港出雲道路整備促進松江市議員連盟研修会



出雲空港→マロウドイン赤坂 2025年10月21日(火)16:15出発

16:40発→19:36着 2時間56分(乗車2時間3分)

乗換: 3回 825.1km

Ⓢ 現金優先: 45,660円

16:40	発 出雲空港		
	← JAL284便		45,000円
18:00着 18:23発	○ 羽田空港(東京)		
	歩 徒歩		
18:28着 18:32発	○ 羽田空港第1・第2ターミナル(京急)	乗車位置: [8両] 中後	
15駅	京急空港線急行(当駅始発) 京成高砂行 [発] 1番線 → [着] 2番線		660円
19:07着 19:13発	○ 東銀座	乗車位置: [7両] 前	
2駅	東京メトロ日比谷線 中目黒行 [発] 3番線 → [着] 1番線		
19:16着 19:23発	○ 日比谷	乗車位置: [10両] 前中	
3駅	東京メトロ千代田線準急 成城学園前行 [発] 3番線 → [着] 1番線		
19:28着 19:31発	○ 赤坂(東京都)		
	歩 徒歩5分 出口: 出口7		
19:36	着 マロウドイン赤坂		

マロウドイン赤坂→参議院議員会館 2025年10月22日(水)09:15到着

08:50発→09:15着 25分(乗車1分) 乗換:0回 1.6km

現金優先:180円 定期券 通勤:1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

08:50	発	マロウドイン赤坂	
		徒歩5分 出口:出口7	
08:55着 08:58発		赤坂(東京都)	乗車位置:[10両]前
		東京メトロ千代田線 綾瀬行 [発] 2番線 → [着] 4番線	180円
08:59着 09:10発		国会議事堂前	
		徒歩5分 出口:1	
09:15	着	参議院議員会館	

参議院議員会館→出雲空港 2025年10月22日(水)18:30到着

15:22発→18:20着 2時間58分(乗車1時間57分) 乗換:2回 822.7km
現金優先:45,660円

15:22	参議院議員会館		
	徒歩1分 出口:1		
15:23着 15:32発	赤坂見附	乗車位置:[6両]前中後	
3駅	東京メトロ銀座線 浅草行 [発]3番線 → [着]2番線		660円
15:37着 15:44発	新橋		
7駅	都営浅草線快特 羽田空港第1・第2ターミナル行 [発]1番線 → [着]1番線		
16:11着 16:12発	羽田空港第1・第2ターミナル(京急)		
	徒歩		
16:17着 16:55発	羽田空港(東京)		
	JAL285便		45,000円
18:20	出雲空港		

領収書貼付用紙

使 途	航空券・宿泊費・手配手数料
【貼付欄】	

領 収 証

2025年09月22日

小澤 一竜 様

金額	¥ 51,420 ※
----	------------

お支払い方法(お振込み)

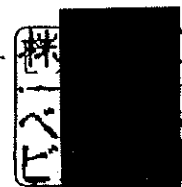
但し 2025/10/21発 航空券・宿泊手配(朝食付、夕食なし)

JAL284 出張→羽田
JAL285 羽田→出張

税率10%相当額: 4,674円
上記の金額正に領収いたしました。

Ref. No. 0000007395

観光庁長官登録旅行業 第597号
株式会社一畑トラベルサー
本社営業所
登録番号 T6280001000073
〒690-0852
島根県松江市千鳥町24
一畑松江しんじ湖温泉ビル



御注意

1. 手書きのもの並びに金額を訂正したものは無効とします。
2. 社用印、担当者印なきものは無効とします。

担当者印



TEL: 0852-26-8181

FAX: 0852-26-5208

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名

【 小澤 一竜 】

中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会に合わせた
境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟研修会

令和7年10月22日(水)

於： 参議院議員会館

地下1階B101会議室

プログラム

◇あいさつ

境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟 会長

◇研修・質疑

◇謝辞

境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟 副会長

研修Ⅰ 9:30~11:00

「高速道路・高規格道路、半島避難道路について」

【講師】

道路局規格道路経済室 室長	依田 秀則 (よだひでのり) 様
道路局国道・技術科 課長補佐	内田 豪士 (うちだつよし) 様
道路局環境安全・防災課 地域道路調整官	小島 昌希 (こじままさき) 様
国土政策局地域振興課 企画専門官	矢部 洋士 (やべひろし) 様
半島振興室 係長	前田 海夏 (まえだかいか) 様

研修Ⅱ 14:00~15:30

「予算について」

【講師】

自治財政局交付税課 主幹	西林 幸泰 (ニシバヤシコウダイ)
自治財政局財務調査課 理事官	今道 雄介 (イマミチ ユウスケ)

研究研修、調査 報告書

議員名 小澤一竜

1. 期 間 令和 7 年 10 月 21 日 (火) ～ 令和 7 年 10 月 22 日 (水)

2. 会 場 等 ①研修:参議院議員会館

3. 調査項目等 ①高規格道路ネットワーク等について 半島振興法の概要

②中海宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会参加

③地方交付税について 過疎対策事業債について

4. 講師 (対応者) ①国土交通省道路局規格道路経済室室長 依田秀則

道路局国道・技術課長補佐 内田豪士

道路局環境安全・防災課地域道路調整官 小島昌希

半島振興室係長 前田海夏

国土政策局地域振興課企画専門官 矢部洋士

②島根県・鳥取県・中海宍道湖8の字ルート整備推進会議

中国横断自動車道岡山米子線 (蒜山IC~境港間) 整備促進期成同盟会

境港出雲道路 (松江北道路) 建設促進期成同盟会

出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会

③総務省自治財政局交付税課主幹 西林幸泰

総務省自治財政局財務調査課理事官 今道雄介

5. 調査内容・所感等

①【高規格道路ネットワーク等および半島振興法の概要】

中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会の開催に先立ち、境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟として、大会への参加および関連する研修を実施しました。

研修は、参議院会館B102会議室にて行われ、国土交通省より、道路局規格道路経済室長の依田秀則氏をはじめ、関係各担当者を講師として招きました。

当日は、国土交通省から、現行の道路ネットワークや高規格幹線道路の役割・機能、新たな広域道路交通計画におけるネットワーク構想の概要、計画策定の基本方針、さらに中海・宍道湖8の字ネットワークの検討状況およびその概要について説明を受けました。

次に、半島地域における防災の観点からの地方道整備について説明を受け、質疑応答を行いました。

我が国の道路は、国道約11万5,000kmと地方道約140万kmで構成され、広域交通から地域交通まで重要な役割を担っており、資料では、島根県の「8の字ルート」が示され、境港出雲道路は平均時速60km以上で走行可能な高規格道路として整備が進められている状況。令和3年には松江北道路が同区分に指定されるなど、計画の見直しと機能強化が図られてきており、

現在は、どの区間から優先的に整備を進めるかが課題であり、国と県が連携して取り組んでいる。

米子・境港間の高速道路延伸についても、過去の凍結を経て、再び整備が進められている。また、

人口減少下においても物流・人流の確保は不可欠であり、産業立地や市街地整備と一体となった

道路整備が求められており、加えて、市街地では交通量の増加に伴う渋滞や事故が課題であり、

安全対策の必要性も示されました。

②【中海宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会への参加】

島根県および鳥取県、中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議、中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進期成同盟会、境港出雲道路（松江北道路）建設促進期成同盟会、出雲～美保間幹線道路整備促進期成同盟会の主催による要望総決起大会に参加しました。急遽、国土交通大臣に就任されたばかりの金子恭子氏も出席し、早期実現にむけて、熱気を帯びた大会となりました。

③【地方交付税および過疎対策事業費について】

総務省自治財政局より、交付税課主幹の西林幸泰氏および財務調査課理事官の今道雄介氏を講師に迎え、研修を実施しました。地方財政の基礎から説明が行われ、国と地方の財源構成や配分の仕組み、都道府県間における税源の偏在状況、地方財政計画の役割、財源確保の考え方、普通交付税の算定方法および財源調整の仕組みについて理解を深めました。加えて、島根町および鹿島町が新たに過疎地域に指定されたことを受け、過疎対策事業債について、ハード事業に係る特別分およびソフト事業分の内容に

についても説明を受けました。

【所感】

本地域の高速道路ネットワークについては、境港出雲道路や米子～境港間が国の直轄事業として進められ、松江北道路も整備が見込まれていますが、全国と比較してインフラ整備の遅れは否めず、早期の事業進展が求められると感じました。

一方で、地方財政が厳しさを増す中、半島振興関連事業は他制度と比べて活用に制約が生じる可能性があり、より柔軟で実情に即した制度運用が必要です。また、社会資本整備総合交付金については補正予算で補完されているものの、交付期間の制約により執行が難しい事例もあり、改善の余地があると認識しました。

さらに、道路整備は観光や産業振興と一体的に進めることが重要であり、交通インフラは地方創生を支える基盤であると改めて感じました。

加えて、過疎対策事業債の算定については地域の実情が十分に反映されていない面もあり、見直しが必要です。税源の偏在是正についても引き続き重要な課題です。限られた財源の中で優先順位を見極めながら、交通インフラ整備を軸とした持続可能な地域づくりに取り組む必要があると考えます。

令和7年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	3		
使途項目	研究研修費		
使途内容	東京研修 (内閣府) 原発特措法について (総務省) R8の地方財政計画について 他		
調査年月日 (購入年月日)	令和7年10月27日(月) ~ 令和7年10月29日(水)		
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	支出額	
		(うち政務活動費充当額)	
	・旅費	79,510 円	79,510 円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
合計額		79,510 円	79,510 円
備考			

議員名 【 小澤 一竜 】

旅費請求書

議員名

小澤 一竜

用務先	東京都										
用務内容	東京研修 (内閣府)原発特措法について (総務省)R8の地方財政計画について 他										
出張期間 (出発及び帰市)		令和7年10月27日 ~ 令和7年10月29日								(2泊3日)	
年月日	曜日	出発地・到着地・用務地	用務先 用務時間	交通費(鉄道・航空・船・その他)				宿泊費 包括宿泊費	宿泊手当		その他
				距離	区分	運賃等	特別料金等		定額	含まない	
R7.10.27	月	松江市 東京都 東京都	内閣府 13:30~ 総務省 15:00~	km	航空 鉄道 鉄道 鉄道	パック旅行 660 180 180	72,300	2,400	含まない		
								計	2,400		
R7.10.28	水	東京都 東京都 松江市	参議院議員会館 10:00~17:00		鉄道 鉄道	180 180			2,400	含まない	
								計	2,400		
R7.10.29	水	東京都 東京都 松江市	参議院議員会館 9:00~12:30		鉄道 鉄道 鉄道 航空	180 330 520 パック旅行					
								計			
小 計						2,410		72,300	4,800		
合 計						79,510 円					

- 注
1. 距離(km)は、市外自家用車利用の場合のみ記入
(自家用車はgoogle地図上で計測した移動距離)
 2. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金
 3. 路程の補足・金額根拠は、Yahoo!路程検索等の写添付(該当箇所マーカー)
 4. 変更を朱書した場合は、理由を備考に記入
 5. 使途に従い不用の文字は抹消して使用すること。

備考

出雲空港までは自家用車を使用。

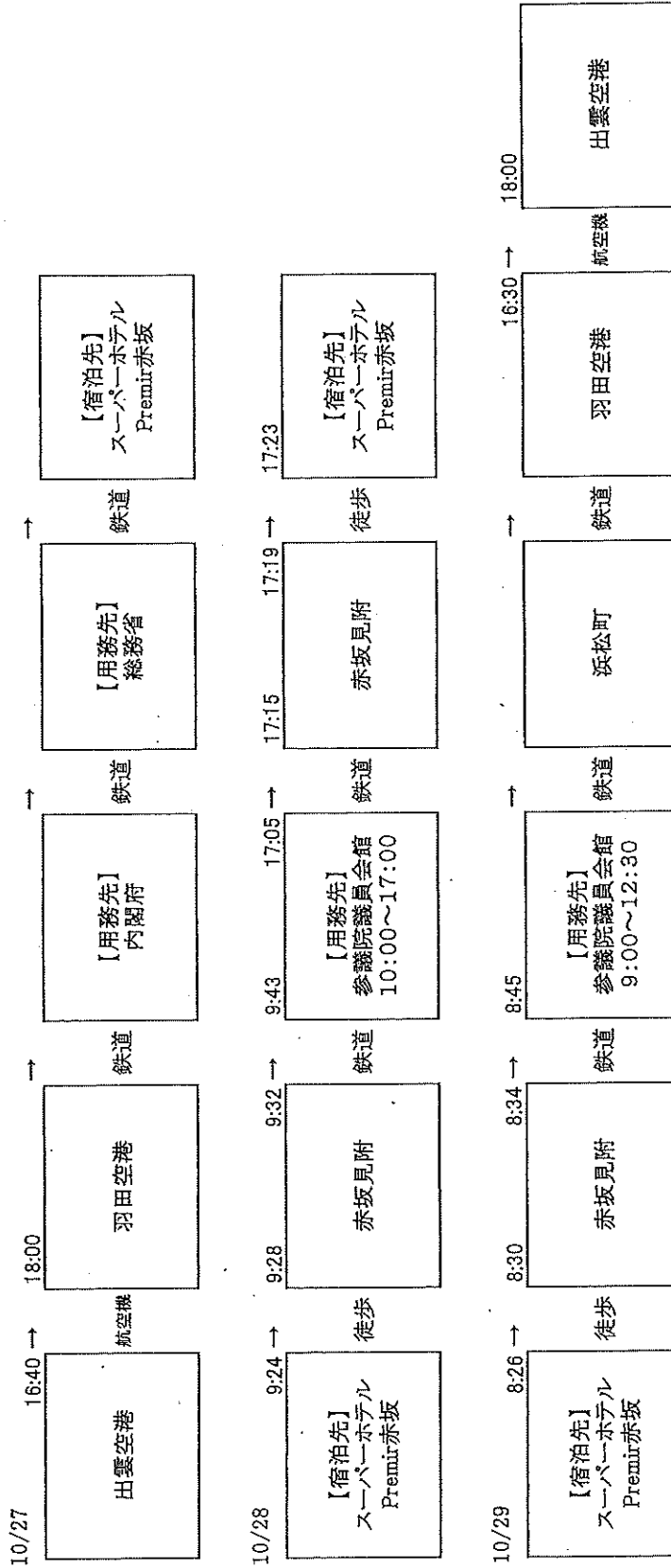
【包括宿泊費】
 パック旅行利用(2泊素泊まり)=72,300円

上限額=往復航空賃90,000円+宿泊費基準額2泊分38,000円(東京都)
 =128,000円

路程欄

別紙のとおり

東京研修



出雲空港→国会議事堂前→内閣府庁舎 2025年10月27日(月)平均

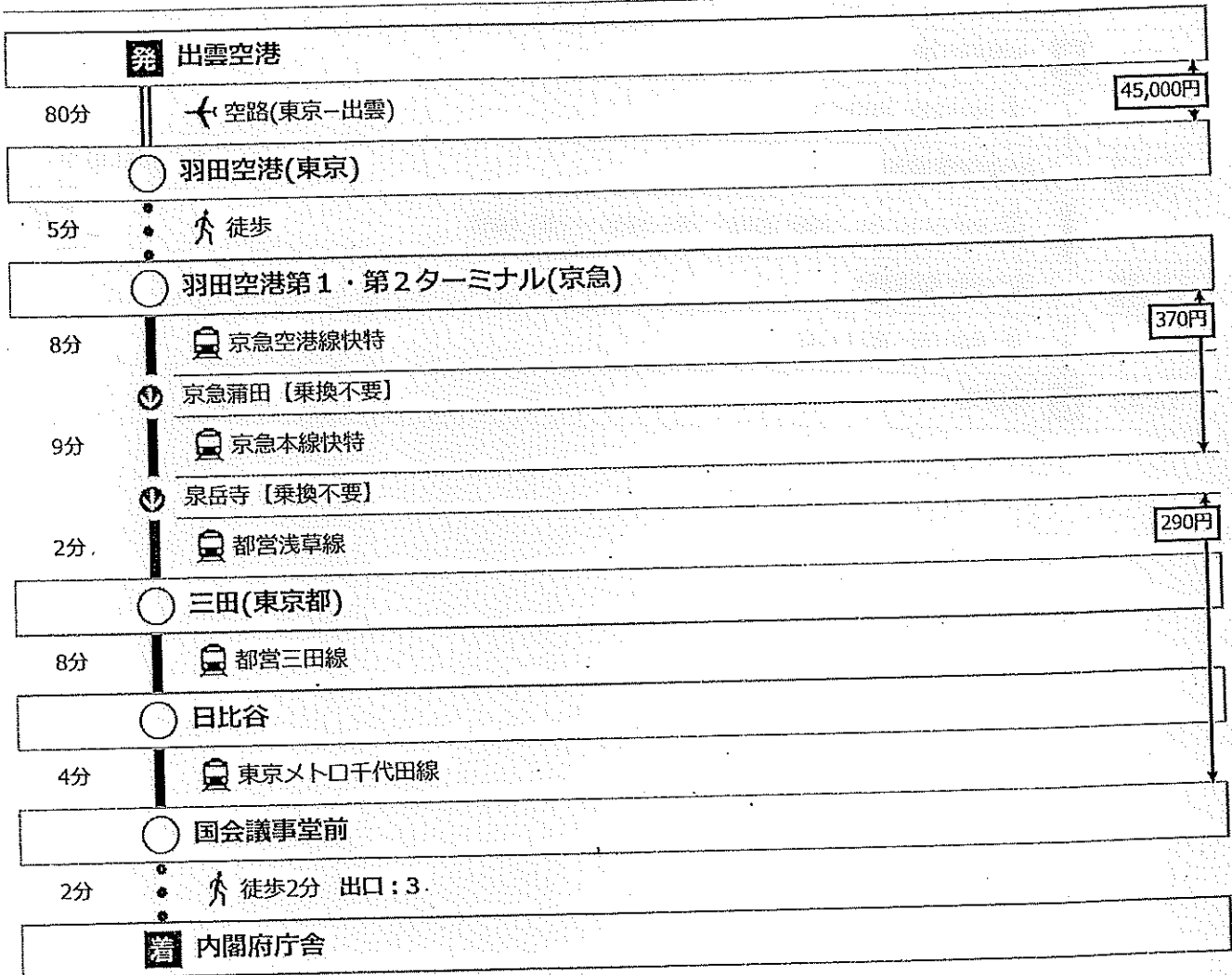
2時間57分 (乗車1時間51分)



乗換: 3回

823.2km

現金優先: 45,660円



内閣府庁舎→総務省 2025年10月27日(月)14:45到着

14:31発→14:43着 12分(乗車1分)



乗換: 0回

0.9km

現金優先: 180円 定期券 通勤: 1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

14:31 発 内閣府庁舎

徒歩2分 出口: 3

14:33着
14:37発 国会議事堂前

乗車位置: [6両] 前 中 後

東京メトロ丸ノ内線 池袋行 [発] 2番線 → [着] 2番線

180円

14:38着
14:42発 霞ヶ関(東京都)

徒歩1分 出口: A2

14:43 着 総務省

総務省→高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

2025年10月27日(月)17:00出発

17:02発→17:18着 16分(乗車3分)



乗換: 0回

1.9km

現金優先: 180円 定期券 通勤: 1か月 6,800円 / 3か月 19,380円 / 6か月 36,720円

17:02 発 総務省

徒歩1分 出口: A2

17:03着
17:07発 霞ヶ関(東京都)

乗車位置: [6両] 前 中 後

2駅

東京メトロ丸ノ内線 荻窪行 [発] 1番線 → [着] 2番線

180円

17:10着
17:14発 赤坂見附

徒歩4分 出口: エレベータ口

17:18 着 高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂→参議院議員会館

2025年10月28日(火)09:45到着

09:24発→09:43着 19分(乗車2分)



乗換: 0回

1.6km

現金優先: 180円 定期券 通勤: 1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

09:24 発 高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

徒歩4分 出口: エレベータ口

09:28着
09:32発 赤坂見附

乗車位置: [6両] 中後

東京メトロ丸ノ内線 池袋行 [発] 4番線 → [着] 2番線

180円

09:34着
09:38発 国会議事堂前

徒歩5分 出口: 1

09:43 着 参議院議員会館

参議院議員会館→高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

2025年10月28日(火)17:00出発

17:05発→17:23着 18分(乗車1分)



乗換: 0回

1.6km

現金優先: 180円 定期券 通勤: 1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

17:05 参議院議員会館

徒歩5分 出口: 1

17:10着
17:14発 国会議事堂前

乗車位置: [6両] 前中後

東京メトロ丸ノ内線 方南町行 [発] 1番線 → [着] 2番線

180円

17:15着
17:19発 赤坂見附

徒歩4分 出口: エレベータ口

17:23 高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂→参議院議員会館

2025年10月29日(水)08:45到着

08:26発→08:45着 19分(乗車2分)



乗換:0回

1.6km

現金優先:180円 定期券 通勤:1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

08:26 発 高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂

徒歩4分 出口:エレベータ口

08:30着
08:34発 赤坂見附

乗車位置:[6両]中後

東京メトロ丸ノ内線 池袋行 [発] 4番線 → [着] 2番線

180円

08:36着
08:40発 国会議事堂前

徒歩5分 出口:1

08:45 着 参議院議員会館

参議院議員会館→出雲空港 2025年10月29日(水)平均

2時間50分 (乗車1時間50分)



乗換：3回 821.6km

現金優先：45,850円

発 参議院議員会館	
1分	徒歩1分 出口：1
○ 赤坂見附	
6分	東京メトロ銀座線 180円
○ 新橋	
2分	JR山手線外回り 150円
○ 浜松町	
22分	東京モノレール 520円
○ 羽田空港第1ターミナル(東京モノレール・JAL利用)	
5分	徒歩
● 羽田空港(東京)	
80分	空路(東京→出雲) 45,000円
着 出雲空港	

領収書

Rakuten Travel

発行日: 2026/2/18
発行1回目

小澤一竜

様

支払金額

72,300 円

ツアー料金: 74,800 円

クーポン利用額: -2,500 円

但し サービス利用代金等として

JAL278 出雲→羽田 JAL285便 羽田→出雲

■ 内訳

クレジットカード利用金額

72,300 円

■ 課税対象

10%対象

72,300 円

課税対象外

0 円

■ 旅行内容

代表者

おざわ いちりゅう

予約番号

RJ52460936645019437

旅行日程

2025/10/27 ~ 2025/10/29

申込人数

1名 (大人1名/子供0名/幼児0名)

航空会社

日本航空

ホテル

高濃度炭酸泉 茜草の湯 スーパーホテルPremier赤坂 (2025/10/27から2泊・1部屋) (素泊まり)

■ 利用明細

内訳

大人

74,800 円 x 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



研究研修、調査 報告書

議員名 小澤一竜

1. 期 間 令和 7 年 10 月 27 日 (月) ~ 令和 7 年 10 月 29 日 (水)
2. 会 場 等 ①研修:内閣府 原子力政策担当室
②研修:総務省 自治財政局
③④⑤研修:参議院議員会館
⑥要望及び訪問:金子恭子衆議院議員事務所、青木一彦参議院議員事務所、
小淵優子衆議院議員事務所、神田潤一衆議院議員事務所、永岡桂子衆議院議員事務所
堀内詔子衆議院議員事務所、出川桃子参議院事務所
3. 調査項目等 ①原発特措法について
②R 8 の地方財政計画 (交付税など) について
③義務教育学校の改修等の支援について
④R 8 の観光庁全般に関する施策について (概要説明)
⑤R 8 の中小・小規模事業者支援について
4. 講師 (対応者) ①内閣府 原子力政策担当室 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 (原子力担当)
主査 今井浩司
②総務省 自治財政局 財政課長 神門 純一
③文部科学省 大臣官房 文教施設企画・防災部 施設助成課 課長補佐
岸谷 高大
④国土交通省 観光庁 総務課課長補佐 石倉將道
国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 矢吹 周平
⑤経済産業省 中小企業庁 長官官房 総務課 課長補佐 水谷 怜斉

5. 調査内容・所感等

①「原発特措法について」

原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法は、原発周辺地域の防災や生活環境、産業基盤整備を目的とし、財政支援を行う制度です。

松江市及び議会としてもこれまで、原子力発電施設等立地地域の振興を実現するため、対象事業の拡大や補助率のかさ上げ等、特別措置法の制度拡充はもとより、対象区域を旧松江市、鹿島町、島根町の範囲を、合併した新松江市全体が特別措置法の範囲に入れるよう要望してきました。

従来は概ね10km圏の自治体が対象でしたが、原子力災害時の避難計画の広域化を踏まえ、対象地域を30km圏へ拡大する（少しでも被っていれば全域）方向が示されました。これにより松江市を含む広域自治体において、防災インフラ整備や地域振興への支援強化が期待されます。

支援内容としては、道路・港湾・消防施設等の整備に対する補助率の嵩上げや、企業立地促進のための課税特例などがあり、また、国の負担割合の引き上げや地方負担の軽減措置も講じられています。地域振興計画は都道府県が作成し、国の承認を経て実施される仕組みであり、今後は内閣府を中心に関係機関と連携しながら、地域の実情や要望を踏まえた防災・振興施策の具体化が進められる見込みです。対象拡大は防災責任に見合う制度として評価できますが、実効性は計画策定と財源確保に左右されます。これから松江市として主体的に事業を設計し、交付金を最大限活用する戦略が不可欠です。12月以降には、地域指定、計画作成を都道府県、市町村へもとめることになるとの事でスピード感をもとめることとなると感じました。

法改正時期にあたる、2031年のタイミングじゃないと、補助率及び第7条別表（具体事業）の改正が行われないとのことなので、先に地域指定だけの変更に至ったとのこと。引き続き、別表部分の見直しは検討していくとのことでした。

また、柏崎刈羽原発の再稼働に向けての動向の中で、原子力防災の充実・強化として、地域産業構造転換インフラ整備推進交付金の活用が可能となる見込みとの事で、松江市としても今後AIデータセンター誘致に向けて親和性があり、注目していきたいです。

②R8の地方財政計画（交付税など）について

「令和7年度地方財政計画」「地方行財政をめぐる課題」「令和8年度の地方財政の課題」

について、レクを受けました。

人口減少や少子高齢化の進展、物価高騰、社会保障関係費の増大などにより、地方財政を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。そのような中で、持続可能な地域社会を実現するためには、行政運営の効率化と財政健全化の両立が求められており、具体的には、地方一般財源総額の安定的な確保や地方交付税の適切な配分を通じて、必要な行政サービスを維持することが重要です。あわせて、DXやGXの推進、防災・減災対策の強化、老朽化したインフラの適切な管理などにも取り組む必要があります。さらに、地域DXの推進や公共施設の適正配置、公営企業の経営基盤強化を進めることで、住民サービスの質の向上と持続可能な財政運営の確立を目指すことが求められています。

意見交換では、官公需をめぐる課題として、まず物価高騰の影響により経常経費が高止まりしており、特に指定管理や業務委託における人件費の上昇が大きな負担となっています。これまで重点支援地方交付金を活用して一定の対応が図られてきましたが、人事院勧告に伴う引上げ分に限らず、それ以外の人件費についても上昇が求められており、自治体財政を圧迫している状況です。この問題は参議院選挙前から国政レベルでも大きく取り上げられ、対応の必要性が強く認識されていました。

こうした中、国としてはまず自らの発注の適正性を点検するとともに、中小企業への発注の多くを担う自治体の役割を重視し、経済対策としての物価高対策を打ち出しています。具体的には、重点支援地方交付金の拡充や地方財政対策への計上を進め、財源面での下支えを図る方針です。また、最低制限価格の適切な設定やスライド条項の活用を通じて、受注者が適正な価格で事業を実施できる環境整備も求められています。自治体に対しては秋頃から継続的に対応を要請しており、国の支援を踏まえつつ、独自の工夫によるきめ細かな対策を講じることが重要とされています。官公需の適正化は地域経済を支える基盤であり、「一丁目一番地」として優先的に取り組むべき課題との共通認識でした。

③義務教育学校の改修等の支援について

令和8年度概算要求における義務教育学校施設整備予算について説明を受けました。

学校施設は地方公共団体が整備主体ですが、国は義務教育環境の確保の観点から財政支援を行っています。背景には、昭和50年代に整備された校舎の老朽化が進み、築40年以上の施設が増加していることに加え、教育内容の変化への対応や児童生徒数減少に伴う適正規模化の必要性があります。また、脱炭素社会の実現に向けた対応も求められています。

施策は主に三点で構成されています。第一に、長寿命化改修を中心とした老朽化対策と教育環境の向上であり、バリアフリー化やICT環境整備も進められています。第二に、防災の観点から非構造部材の耐震対策や体育館空調整備、トイレの洋式化など避難所機能の強化が図られています。第三に、断熱化や再生可能エネルギー導入による脱炭素化の推進です。

一方で、予算は補正に依存する傾向があり、自治体の要望に対して未採択事業も存在するなど課題も明らかとなりました。今後は一層の安定的な財源確保と計画的な整備推進が求められます。

④R8の観光庁全般に関する施策について（概要説明）

令和8年度の観光庁予算は、「持続可能な観光地域づくり」と「高付加価値な観光の推進」を基本方針として編成されております。インバウンド需要の回復を背景に、観光需要の拡大と地域経済への波及効果の最大化を図る内容となっております。

予算規模は大幅に増額されており、その主な財源として国際観光旅客税が充当されております。施策の柱としては、第一にオーバーツーリズム対策や受入環境整備の推進、第二に地方誘客の強化と観光資源の高付加価値化、第三に観光産業の再生・強化が掲げられております。特に、観光DXの推進や二次交通の整備、観光人材の確保・育成などが重点的に取り組まれる方針であります。

一方で、都市部への観光集中や地方における受入体制の課題、人手不足、災害リスクへの対応など、引き続き対応すべき課題も多く指摘されております。観光振興と地域住民の生活との調和を図る観点も重要であり、地域主体による持続可能な観光地経営が求められております。

また、国際観光旅客税（出国税）については、今後の税制改正において引き上げが検討されており、その増収分を観光インフラ整備や地方誘客、オーバーツーリズム対策等に活用する方向性が示されております。今後は、旅行者負担への影響や制度の効果検証も含め、適切な運用が求められるものと考えます。

以上のとおり、令和8年度は観光政策において「量から質への転換」と「持続可能性の確保」を一層推進する重要な年度であると認識いたしました。

⑤R8の中小・小規模事業者支援について

令和8年度の中小企業・小規模事業者支援についてレクを受けました。今回の概算要求では、物価高や人手不足、米国関税の影響など厳しい経営環境を踏まえ、総額1,378億円規模へ拡充されております。主な柱として、①価格転嫁対策や資金繰り支援の強化、②生産性向上や設備投資を通じた持続的賃上げ支援、③事業承継・M&Aの促進、④地域経済や小規模事業者の活性化が掲げられております。特に、省力化投資補助や中堅企業向け成長投資補助の大幅拡充、事業再構築・新事業進出支援、さらには信用保証や政策金融による下支えが重視されている点が特徴的です。

一方で、現場の事業者にとっては、物価高によるコスト増と人手不足が依然として深刻であり、制度があっても活用までの手続き負担や情報格差が課題と感じます。今後は、より使いやすく迅速に届く支援とともに、地域の実情に即した伴走支援の強化が不可欠であると考えます。